



石巻学 vol. 10

【特集】

布施辰治

戦前・戦中・戦後を闘った布施辰治

布施辰治（1880-1953）は、現在の宮城県石巻市蛇田に生まれ、戦前・戦中・戦後を通じて人権派弁護士として最前線で活躍しました。弁護した被告は、大杉栄虐殺後のアナーキストたちや日本共産党員をはじめ、植民地台湾の農民や朝鮮の独立運動家、さらに戦後は三鷹事件の被告団など多岐にわたります。

今年は「治安維持法」制定 100 年

2025年は「治安維持法」が制定されてから100年にあたります。布施辰治じしんも弁護活動を理由に、弁護士資格を剥奪され治安維持法違反として収監されるという弾圧を受けました。しかし布施の出身地石巻では、郷土の偉人として布施辰治の業績を学び顕彰する運動がいまも続いています。今号では、布施辰治の全体像と、彼を語り継ぐ石巻の人たちの姿を浮かび上がらせてます。

石巻学プロジェクト編

定価（本体 1500 円＋税） A 5 判並製 242 頁

ISBN978-4-911530-02-3 C0039 ￥1500E

今号から『石巻学』はアトリエ花粉館発売です

【類書・関連書】

森正、黒田大介『人道の弁護士・布施辰治を語り継ぐ』（旬報社、2023 年）

森正『ある愚直な人道主義者の生涯：弁護士布施辰治の闘い』（旬報社、2022 年）

荻野富士夫ほか『治安維持法一〇〇年』（大月書店、2025 年）

荻野富士夫『検証 治安維持法：なぜ「法の暴力」が蔓延したのか』（平凡社新書、2024 年）

NHK「ETV 特集」取材班ほか『証言 治安維持法』（NHK 出版新書、2019 年）

石巻学プロジェクト（代表：大島幹雄（おおしま みきお）。大島幹雄氏はノンフィクション作家として活動するかたわら、サーカス学会会長、石巻若宮丸漂流民の会事務局長などをつとめています。著書に『日本の道化師 ピエロとクラウンの文化史』平凡社新書、『〈サーカス学〉誕生』せりか書房、『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』祥伝社、『満洲浪漫：長谷川瀆が見た夢』藤原書店など多数。

アトリエ花粉館 電話0848-44-2436
広島県尾道市向東町37-2

JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です。

返品は長期にお受けいたします（返品条件付注文扱い）。[了解者 JRC 宮尾]

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

注文書

書店名

注文冊数

冊

石巻学プロジェクト編

石巻学 vol. 10

アトリエ花粉館

ISBN978-4-911530-02-3 C0039 ￥1500E

定価
（本体 1500 円＋税）

ご担当者名